



議会だより

春がきた
新たな気持ちで

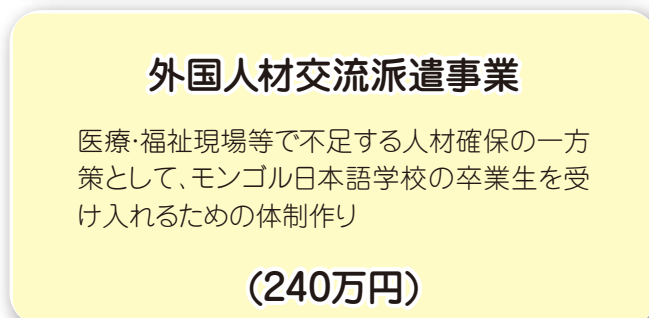
おもな内容

3月定例会	2
予算審査報告	4
一般質問(4名)	10
委員会活動報告	16
どっこい、この町に生きる	20

平成30年度予算は定住・人口対策を重点施策に

公共料金の据え置き、子育て環境の充実、移住定住促進、結婚支援などの予算を議決

平成30年度 おもな新規事業



増原町長は、「誰もが安心して住むことができるまち」にするため、自らの3期目4年間は国民健康保険税、介護保険料、水道料、下水道料を据え置く方針を示し、各種公共料金が据え置かれる予算となりました。

また子育て環境の充実のための高等学校通学費等の助成、日南福祉会の人材確保のための介護福祉人材支度金貸与事業、モンゴル日本語学校からの人材交流派遣事業、少子化対策としての結婚活動支援事業が始まります。

平成30年度 会計別当初予算額

会 計	金 額	対前年度比
一 般 会 計	64億896万3千円	△3億4,447万3千円
国民健康保険会計	6億9,098万0千円	△9,454万3千円
簡 易 水 道 会 計	2億7,368万0千円	△343万7千円
農 業 集 落 排 水 会 計	2億974万7千円	2,725万9千円
介 護 保 険 会 計	10億2,309万6千円	△4,778万0千円
介護サービス会計	9,162万5千円	△3,687万1千円
後期高齢者医療会計	9,741万7千円	285万9千円
再生可能エネルギー 発電事業会計	3,970万2千円	3,247万5千円
病 院 事 業 会 計	12億4,117万8千円	△2,484万5千円
収益的収支	11億2,714万4千円	2,034万8千円
資本的収支	1億1,403万4千円	△4,519万3千円
合 計	100億7,638万8千円	△4億8,935万6千円

- 議決したおもなもの**
- ◆ 過疎地域自立促進計画の一部変更
 - ◆ 公の施設の指定管理
 - ◆ 道の駅にちなみ日野川の郷（株）サクセス香川県坂出市ゆきんこ村
 - ◆ （株）創環・南部町
 - ◆ 一般会計補正予算
 - ◆ 200年の森遊歩道整備 763万円
 - ◆ 町有財産緊急修繕費の増額 300万円
 - ◆ 西部広域行政管理組合の消防費負担金の増額 266万円
 - ◆ 介護サービス事業特別会計
 - ◆ 日南福祉会施設使用料を免除するため歳入の減額 2,795万円

日南町議会の3月定例会は、3月2日から23日までの22日間の会期で開かれました。3期目の再選を果たした増原町長による平成30年度施政方針説明を受けて、4人の議員が一般質問を行いました。

執行部から提案された平成29年度補正予算、平成30年度の一般会計など各会計の当初予算および条例案は、原案通り可決しました。

予算審査は、議員全員で構成する「予算審査特別委員会」（委員長・山本芳昭）を設置し、担当課から詳しく説明を受け、住民にとってよりよい予算となるよう審議を深めました。

平成30年度当初予算 一般会計予算 質疑応答

ふるさと納税

問 近藤議員

ふるさと納税が減っているが町の取組む姿勢は。

答 坂本室長

総務省から返礼の上限として3割の指示。道の駅の売上も上がるように、道の駅の商品を使用。

問 近藤議員

返礼品に対しての感想は。

答 坂本室長

アンケートは実施していないが、メールや電話で評価を受けている。

問 村上議員

魅力ある返礼品として、みらいファームの和牛や豚肉・鳥肉なども取入れても良いのでは。

答 高見総務課長

牛の場合は1頭買いが条件。次の道の駅の管理者は物販を積極的にされる。4品目の肉についても積極的に取組むと思う。



返礼品として希望の多い日南米

山上分団機庫

問 近藤議員

山上分団機庫の規模は。

答 渡辺防災監

現在は車庫だけ。今回は待機所も含めた計画。

問 近藤議員

現在の場所面で面積を確保できるのか。

答 渡辺防災監

今の場所が集まり易い、駐車し易いという事で、一階を車庫、二階を待機所。

問 福田議員

おおくさ荘の活用は。



老朽化した山上分団機庫

答 渡辺防災監
検討はしたが、今後活用があるかもしれない。

問 古都議員

地元の意向ばかりで担当課のスタンスが見えない。今後更新する場合、待機所を全ての分団に作るのか。

答 渡辺防災監

山の上3分団に待機所がなく検討して行きたい。

問 古都議員

当面、おおくさ荘を活用して、支障ができれば、建替えを。今一度場所の検討を。

答 新築は状況を考慮しながら検討して行く。

モンゴル日本語学校 卒業生受入

問 近藤議員

国の制度などの活用や法的な制約はないか。

答 実延室長

国の制度活用は調べる。入管の制約や、外国人技能実習制度、在留資格など、法的手続きがある。

問 近藤議員

研修生は、研修なのか就労なのか。また期間は。

答 実延室長

技能実習制度は1年から5年間、1年経つと試験がある。在留資格は業務内容により、1年から5年間。

答 木下企画課長

高卒者に対し就労を受入。

問 大西議員

モンゴル派遣メンバーは決まっているか。

答 実延室長

町長、随行員、通訳、事務担当職員。

問 大西議員

通訳は現地からでは。

答 実延室長

現地の送り出し機関と受入

機関共に必要。

問 大西議員

モンゴルの年度変わりはいつか。

答 実延室長

7月に学校が終わり、9月から新年度。



日本語表記の進路指導室

問 久代議員

町内の外国人労働者の実態を調査したか。

答 実延室長

聞き取りで、一社で3名、もう一社で6名。

問 久代議員

町内の外国人労働者の実態を把握し、資料として提出を求める。

答 実延室長

資料として提出する。

問 坪倉議員

事業の流れは。全体スキームの資料を求める。

答 実延室長

町の支援で相手国に信頼性を得る。申請事務のフォローや町内のニーズ確認、マッチングなど。

問 坪倉議員

人選の責任は問われないか。

答 実延室長

送り出し機関から多数の人を推薦してもらい、企業が人選する。

インターンシップの受け入れ

問 足羽議員

受入予定時期は。

答 実延室長

大学生の夏休みに合わせて、企業にお願いする。

問 坪倉議員

PRはどのように行うか。

答 実延室長

鳥大・鳥大に説明。町内は、商工会でのPR、インターネットでPR。

問 坪倉議員

旅費が2千円と少額だが、近隣大学のみか。

答 実延室長

教育機関全てが対象。町と連携した大学は個別対応。

問 古都議員

人口増加や産業の活性化に繋がるか疑問である。取組まれる動機は何か。

答 実延室長

役場にも鳥大からの実績がある。全国的に田舎で起業志向もある。



鳥大保健学科インターンシップ

婚姻奨励事業

問 久代議員

婚姻奨励事業について具体的に説明を求める。

答 丸山教育長

婚活をなぜ教育課なのか。現在は青年団などの仕組みがない。また、仲人も減少している。婚期の成人者や

未婚者と親や仲人に町民大学の講師などを活用し、学習に取組む。実質的な所の委託登録料を業者に出して、町としてパイプを繋ぐ。

問 久代議員

農林業研修生等のUIターンなど、未婚者が語り合える機会を設けたら。

答 丸山教育長

学習会なら参加し易いのは。また、専門家に期待している。

問 坪倉議員

セミナーは何回の予定か。また、婚活イベントの活動計画は。

答 段塚室長

セミナーは5回程度。イベントは出会いの場を提供。

問 坪倉議員

丸投げでなく教育課がする中で、業者に委託するのか。

答 段塚室長

募集から専門業者に委託したい。

問 坪倉議員

登録助成の相談所はどこか。

答 段塚室長

特定はしていない。10人分の初期登録料を助成。

社会体育館のFSC認証

問 荒木議員

認証材は屋根だけだが、建物自体に対する認証か。

答 段塚室長

建物自体に認証を取る。

問 村上議員

体育館は、FSC材を使うのが前提だが、認証をとる意味はどこにあるか。

答 丸山教育長

認証施設である事を明記しPR。

問 村上議員

仕入れ先の森林組合からFSC認証材の証明を取れば良いのでは。

答 丸山教育長

道の駅と同様で、町で作った物に対しFSC認証をし



FSC認証を取得している道の駅

て行く。

問 大西議員

FSC審査は年一回行われる。資料提出を。

答 安達教育次長

材だけでなく、加工会社も含めFSC認証の体育館となる。

問 村上議員

FSC認証の資格を持った会社を選定されるのが前提か。

答 安達教育次長

資格を持った所を選定。

農地最適化 推進計画

問 坪倉議員
初年度でどの程度、農地最適化推進計画が進んだのか。

答 伊田農業委員会事務局長
年間50、60haを集積予定して進んでいる。また、非農地化が2.2ha改善。新経営体も立ち上がった。

問 古都議員
非農地申請が認められると登記経費は不要か。

答 伊田農業委員会事務局長
農業委員会がB判定した農地については不要。管理が不十分で転用をかける所は必要。



増える荒廃地

にちなん ブランド化促進

問 古都議員
道の駅出荷者協議会のみへ100万円の支援は不公平。各組織の均衡は。

答 久城農林課長
スタートアップの為、当面重点的に支援。

問 古都議員
町内の野菜生産団体にも検討をお願いしたい。

答 久城農林課長
野菜苗の助成などで支援している。道の駅の新指定管理者に期待したい。

問 坪倉議員
過疎債ソフト事業は何処に充当するのか。

答 岸室長
特産品等販売戦略と販路促進事業等委託費に200万円充当。

問 坪倉議員
委託事業より、補助金として出している。

答 久城農林課長
ブランド化を図るのに、町の意向を踏まえた事業とするため。

問 坪倉議員
委託事業の成果物の所有権が曖昧になるのでは。

答 久城農林課長
受託者にある。



ブランド化をめざす商品

原木価格安定 対策事業

問 坪倉議員
オロチに対して、原木支援が今後も必要か。また、C材、D材に対する補助の検討は。

答 久城農林課長
山元に何か支援できる仕組み創りを検討したい。

高齡者等 タクシー助成事業

問 坪倉議員
一民間企業に対する支援の精査が必要。木材のカスケード利用に対する支援に変えて行くべき。

答 久城農林課長
現実的には、C材、D材の搬出経費が合わない。制度化工夫が必要。

問 坪倉議員
D材は実際取扱いは難しいと思うが、C材を持ち出して、DWファイバーや燃料として利用を促す。

答 久城農林課長
また、集積場に搬出されたC材、D材に対し山元に上乗せを検討いただきたい。



DWファイバーの製造ライン

問 久代議員
おでかけタクシーは施設入所者も対象になるか。

答 梅林福祉保健課長
29年度は施設入所者は対象外であったが、町内に住所のある方は、30年度は対象にする。



タクシー券発行窓口(福祉保健課)

問 古都議員
夜間は予約が必要。配布時に周知されているか。

答 梅林福祉保健課長
夜間を想定していなかった。今後広報に努める。

問 足羽議員
地域による距離の格差の検討はされたか。

答 梅林福祉保健課長
30年度は同様に行い、その後検討する。

かすみ荘の 管理運営

問 坪倉議員
昨年、かすみ荘の大規模改修か建て替えの認識があった。今後の方針は。

答 梅林福祉保健課長
改修の必要性は認識している。職員の不足からあかねの郷に統合を検討。福祉会の方針決定を待って対応したい。

簡易水道事業 施設監視装置

問 荒木議員
施設監視装置の内容は。

答 高橋室長
電話回線による通報から、クラウド化による通報を計画。警報以外に具体的数値が確認できる。

問 荒木議員
全ての13施設に設置するか。

答 高橋室長
施設ごとに合った内容の物を、13施設に導入する。



更新前の施設監視装置

問 山本議員
クラウドの使用料だけで維持できるか。

答 財原建設課長
5社くらいから選定し、コスト面も配慮する。

問 山本議員
クラウドの使用料だけで維持できるか。

答 財原建設課長
5社くらいから選定し、コスト面も配慮する。

塵芥処理事業

問 久代議員
西部広域でどのようなスケジュールで検討するか。

答 浅田住民課長
また、下石見の清掃センターのあり方について。

問 浅田住民課長
平成43年を目途に西部広域で一般廃棄物の共同処理を目指すしている。また、ワーキング会議を立上げ検討を進める。町施設の維持管理は地元で了解を得てないが43年まで延命化をお願いする。

日南病院

問 久代議員
地域医療総合確保基金を6,316万円取り崩して何に使われたか。

答 古井病院事務部長
基金の繰入金金は6,316万円で主に、新設した介護



日南病院 就職ガイダンス(米子会場)

問 坪倉議員
昨年12月の常任委員会で推計3,000万円の取り崩し予定が6,316万円になった理由は。

答 古井病院事務部長
主に介護職の正職員化による人件費。

問 久代議員
昨年赤字決算だったが、29年度の決算見込みは。

答 古井病院事務部長
損益計算書では、損益ゼロを見込んでいる。

予算審査特別委員会の審査報告

3月定例会では、平成30年度一般会計をはじめ、各会計予算の審議にあたり、本会議での質疑後、予算審査特別委員会（委員長 山本芳昭）を設置して、平成30年3月6日、7日、8日、9日、12日、16日、20日に委員会を開催し、付託された各議案の会計予算について関係職員から詳細な説明を受けるなど慎重に審議を行いました。

1. 町有財産管理運営

返還を求める

①日南町から日南プレカット事業協同組合に賃貸している土地は、現在、プレカット事業をされており、所期の目的と用途が変わっている。返還について交渉されたい。



日南プレカット

2. 関東町人会開催事業

地域よりバランスのよい参加を

担当職員、地域住民、議員など25名分の旅費を計上されているが、地域により参加者の偏りがみられる。



第17回関東町人会

3. 観光振興対策事業

来訪客の満足度の向上を

町の観光振興施策の大部分を観光協会に委託されるが、観光振興は、企画立案と情報発信力が求められる。町内の観光資源の開拓と有機的な連携をすすめ、付加価値の創出や来訪客の満足度の向上につながる取り組みを推進されたい。

4. 高齢者生活福祉センター管理運営事務、居宅介護事業

早期の修繕を

かすみ荘は、老朽化が著しく、日南福祉会から修繕要望が出されている。日南福祉会では、施設の統合などについて検討されていると聞くが、早急に施設運用方針を決定し対応するとともに、当面の利用に不都合がないよう善処されたい。

5. 日南町人材育成事業

通学バスの無償化を

高等学校等の通学、下宿寮費を助成するが、小中学生の通学バス定期代の無償化を実施し義務教育期間の経済的負担の軽減について検討されたい。



待望される通学補助

6. 婚姻奨励事業

実績を求める

婚姻奨励事業として、セミナーやイベント、相談会などが予定されている。企画課所管の出会いの場づくり実行委員会が行うイベントとともに広く情報提供され、意識の醸成と実が上がるよう、委託事業者任せにせず主体性を持って取り組まれたい。

平成30年度当初予算 一般会計・特別会計予算 討論

一般会計

反対 久代議員

介護給付費の準備基金も約一千万円取り崩されて、国保、介護保険料について据え置きを決定された事は大変評価している。
増原町政3期目で、一番気になるのは人権政策である。毎年2千2百万円の予算額が変わっていない。
組織の活動費の中で、一運動団体やある特定地域・自治会に対して補助することとは問題があると思っている。いろんな大会に派遣するには、人権問題をテーマとして全町から募集して行くべきだと指摘する。

賛成 坪倉議員

予算審査の過程で、議員から色々な指摘や課題があった。
現場に立脚し、町民の視線でより効率的な予算の執行に当たっていただきたい。結婚対策等生き残りを懸



ふれあい人権講座(H30.4.10)

介護サービス事業特別会計

反対 久代議員

町の福祉施設は公設民営として、100%町の資金で建てたが、その1/3の約7億円を長期に亘って諸収入として受け入れるという試算である。
しかし、日南福祉会の経営状況は前年も赤字であり29年度も赤字決算見通しになると報告があった。
29年度は27,953千円



障がい者グループホームに予定される虹の郷

の使用料を全額減免されたが、今後の福祉会の経営の在り方を考えると、諸収入としている金額が妥当か検討し直すべきである。
従って、当初予算で上げている25,389千円の諸収入については問題がある。

賛成 大西議員

使用料相当額の負担については、町と日南福祉会との当事者間で、年度ごとに決算見込みにより協議することになっている。
平成29年度の決算見込みはマイナスのため、使用料負担は求めない「免除」と

反対 久代議員

一つの家族で、別々の保険制度に強制的に入らせるという制度そのものに問題がある。
医療の内容も75歳以上の被保険者にとっては、差別的な医療の内容である。
従って、後期高齢者医療制度を廃止して、国保や社会保険に加入できる、年齢で差別しない制度にすべきである。

賛成 荒木議員

後期高齢者医療制度は、4月で10年になる。
2つの保険制度に分けた大きな理由は、日本の国民皆保険制度を維持していくためのものであり、医療の安全やサービスの質を落さずに安定した恒久的な保険制度にするためのものである。

平成30年度当初予算の賛否内訳

件名	結果	(欠員)	村上 正広	福田 稔	古都 勝人	足羽 覚	大西 保	久代 安敏	恵比奈 礼子	近藤 仁志	荒木 博	坪倉 勝幸	山本 芳昭
一般会計予算	可決	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
介護サービス事業特別会計予算	可決	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計予算	可決	-	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○

※村上正広議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。ただし、採決で賛否が同数となった場合は「議長裁決」という形で賛否表明をします。

町政のここが聞きたい



大西 保議員

問 モンゴル技能実習生の
受け入れの重要な課題は

答 友好的な関係づくりに
取り組む

問 日本側受け入れ監理
団体の設立時期は

答 町長
視察による交流そして「人材交流派遣に関する包括協定」を結ぶなど、まずは友好的な関係づくりに取り組むことと並行して、受入体制を整えるとともに、町内事業所の受入希望確認と、モンゴル日本語学校卒業生の意向確認を進めていきたい。

問 今後の進め方及び取り
組むべき重要な課題は
何か

答 増原町長
鳥取県はモンゴル中央県と交流を行っており、現在も大変友好的な関係である。「鳥取県モンゴル中央県親善協会」は県民レベルでのモンゴル中央県との友好交流の推進を目的として活動をされており町にとっても信頼できる相手国であると考えている。

問 外国人材交流派遣事業

答 外国人材交流派遣事業は、ベトナム、中国、インドネシア、ミャンマー等東南アジアが中心であるが、まだ実績が少ないモンゴルをなぜ選定されたのか。

問 セントラルファーム
農場の排水問題

答 町長
日南町、セントラルファーム株式会社及び銭神山川農業用水関係者の3者による公害防止協約書の締結に向けた進捗状況は。



日本語表示のモンゴル高等学校

問 道の駅

答 町長
新年度より新たな指定管理業者が決定したが、決定に至った評価と新事業者に期待するポイントは。



庁舎内に帰ってきた観光協会

問 交流人口・関係人口増
加に向けた取り組み

答 町長
農泊推進事業の計画が示されたが、観光協会によるイベントの企画、推進、管理等が多く見受けられ、今までの事業を継続、推進していく上で現体制のままでやれるのか伺う。

問 マンガン流出の起源
特定は

答 町長
昨年8月に鳥取大学農学部による「日野川水系における水質等調査報告会」で、今後の課題とされた5項目の内、森林開発周辺から流出している高濃度マンガンの起源特定について、その後の取り組み状況は。

問 今後の改善計画の情報は

答 町長
当農場の今後の経営計画や改善計画等で、何か情報収集されている内容があるのか。

問 移住定住対策

答 町長
総合戦略に基づき世帯向け賃貸住宅の整備や分譲宅地への家屋建築助成などを行っている。直接的な支援と併せて農林業の所得向上など仕事と暮らしの質を向上させUターンを考えるきっかけづくりを進めていく。

問 おおくさ荘

答 町長
おおくさ荘が休止し、福祉会から福祉保健課の所管になっているが、今後の利活用の方角は。

問 道の駅

答 町長
新年度より新たな指定管理業者が決定したが、決定に至った評価と新事業者に期待するポイントは。

問 セントラルファーム
農場の排水問題

答 町長
日南町、セントラルファーム株式会社及び銭神山川農業用水関係者の3者による公害防止協約書の締結に向けた進捗状況は。

問 観光協会の業務充実を

答 職員体制の整備を図り
来訪者の満足度を上げる



近藤仁志議員

問 観光協会の業務充実を

答 職員体制の整備を図り
来訪者の満足度を上げる

問 情報の発信は以前より
進んでいるが、その後の
効果、反応の検証が不足して
いると感じる。来町者の意向、
動向、満足度調査は、継続し発
動

答 木下企画課長
地域と一緒に磨き上げるのが観光活用に重要な要素と考えるので、地域を挙げた取り組みにつなげていきたい。

問 木下企画課長

答 木下企画課長
地域と一緒に磨き上げるのが観光活用に重要な要素と考えるので、地域を挙げた取り組みにつなげていきたい。

問 木下企画課長

答 木下企画課長
地域と一緒に磨き上げるのが観光活用に重要な要素と考えるので、地域を挙げた取り組みにつなげていきたい。

問 木下企画課長

答 木下企画課長
地域と一緒に磨き上げるのが観光活用に重要な要素と考えるので、地域を挙げた取り組みにつなげていきたい。

町政のここが聞きたい



久代安敏議員

問 中途退職者を生むな

答 処遇改善や職場環境改善が
すでに実施されている



導入されたベット用リフト

答 増原町長
日南福祉会においては、中途退職を防ぐため、また新規採用者を確保するため、処遇改善策（定期昇給の実施、賞与の率の維持、研修費資格取得費の助成等）様々な努力をされている。中途退職を防止するための取組み（腰痛予防のためのリフトの導入、研修会、ハラスメント防止研修、職場環境改善のためのプロジェクトチームの活動等）を実施されている。

問 日南福祉会の人材確保
対策
答 介護職員の確保は喫緊の課題である。新年度からあらたに介護職員等の人材確保対策として100万円の支度金制度を設けることになっているが、中途退職者を生まないための処遇改善は図られているか。

問 地域林政アドバイザーを新規雇用することになっているが、業務内容を明らかにしているか。
答 町長
新年度は、農林課の嘱託職員として、林業成長産業化地域創生モデル事業のうち、林業アカデミー整備事業を中心に、町行政の林業振興施策の一部を担当する。



増加する薪ストーブ

問 薪ストーブの導入計画は具体的な利用を想定して策定しているか。
答 町長
導入計画は具体的な利用を想定して策定している。低コストで安定供給が課題である。薪ストーブなど家庭レベルでの推進を図る。

問 日南町木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入計画（平成29年2月）は、どのように検討されているか。
答 町長
現行制度では、地権者と新植については、県補助金と町の単独補助により、個人負担はほぼ不要。ただし、下刈りには町の嵩上げを行っているため、再造林が停滞する一要因となっている。

問 皆伐・新植を促進するためには、国・県と連携して再造林の補助金単価を増額することが求められると考えるか。
答 町長
皆伐・新植を促進するためには、国・県と連携して再造林の補助金単価を増額することが求められると考えるが、

町政のここが聞きたい

問 リハビリテーション科新設に伴い
整形外科の受診日増を

答 現在の状況では難しい



足羽 覚議員

問 整形外科の受診日を増やしては
答 中曽病院事業管理者
理学療法士6名、作業療法士1名と体制が整ったため、診療科としてリハビリテーション科を新設した。

介護予防日常生活支援総合事業である通所型サービスCの拡充、地域支援事業での運動機能向上、栄養改善など従来あったものを充実させる。訪問リハビリでの相談業務の充実、福祉会が訪問介護される場合理学療法士も一緒に伺って、自立支援プログラムへの参画などを計画している。

問 リハビリテーション科
答 日南町の現状として、人口の半数以上が65歳を迎え、年代別では80歳代が最多数となっている。今後10年先、20年先と大変厳しい状況が予測されている。そのような現状の中、高齢者の自立支援や重度化予防に期待がもてるリハビリテーション科が1月から新設されたが、高齢化に向けた、更なる対応を計画されているか。

問 結婚対策
答 かつて、結婚相手との出会いのきっかけとして「職場での出会い」や「青年団など地域社会での出会い」など、自然の出会いが主流だったが、出会いが減少している昨今、行政としても婚活応援を



リハビリテーション科が表示された案内看板

問 病院事業管理者
答 鳥取大学整形外科医局の人員体制が充分になったら追加派遣は可能だが、現在の状況で整形外科の受診日を増やすことは難しい。また人材紹介会社等を活用しながら独自採用も進めていきたい。30年度の新規採用は今のところない。31年度に向け、各看護大学や就職ガイダンスに出掛け取り組みを強化している。

問 婚姻奨励事業
答 丸山教育長
平成30年度は教育委員会が所管となつて実施されるが、募集をかけても町内の参加者が集まり難いと予測される。どのような手法を取られるのか。

問 婚姻奨励事業
答 増原町長
国勢調査によると町内の独身男性は、20代が123名、30代が106名、40代が99名である。また、独身女性も20代が87名、30代が39名、40代が40名である。平成9年〜15年に実施した「夢ランド日南」で7組、23年〜26年の「にちなん恋日和」では2組の成婚実績があった。町としても有効な施策は大切であると考えている。

陳情の審査結果

提出のあった請願・陳情は、3月定例会の本会議で審議した結果、次のとおり決定しました。

件名	提出者	審査意見	本会議
核兵器禁止条約の日本政府の署名と批准を求める意見書採択についての陳情	ヒバクシャ国際署名をすすめる鳥取県民の会 代表 鳥取県原爆被害者協議会 会長 田中 一朗	我国は唯一の戦争被爆国であり核兵器全廃を目指しているが、核兵器禁止条約は核保有国の参加がなければ実効性がなく、核保有国と非保有国との対立を生みかねない。 まずは、日本政府が取り組んできたCTBT(包括的核実験禁止条約)、FMCT(核兵器用核分裂性物質生産禁止条約)を着実に進め、NPT(核拡散防止条約)体制を確立し核兵器のない世界の実現に努力すべきである。	不採択

陳情審査の討論

反対 久代安敏議員

平井県知事を始め、全地方自治体の首長や増原町長もヒバクシャ国際署名に署名されている。昨年7月7日に、国連193加盟国の内、122か国の賛成で採択された条約である。国も非核3原則を議決して久しい。北朝鮮やアジア情勢を見ても、非核化を日本政府こそ訴えて行くべき。一日も早く日本政府もこの条約に署名し批准すべき。

賛成 荒木博議員

我が国は非核3原則を掲げているが、現実的な問題として、核保有国が存在している。日本の安全保障の観点から考えると、同盟国であるアメリカと共に、核拡散防止条約や包括的核実験禁止条約等による核軍縮に向けた現実的な取組をして行くべき。アメリカの核の抑止力を否定する条約に加入することには無理があると考える。

反対 坪倉勝幸議員

これまでの核実験禁止条約に米国、中国は参加していない。また、核拡散防止条約も核保有国の5か国は参加していないので、対立を招くとは思えない。世界で唯一の被爆国である日本は率先をして、核兵器の廃絶強化に取り組まなければならないし、核拡散防止条約、核実験禁止条約、核兵器禁止条約のステージに於いて、日本は世界をリードしなければならない。

賛成 足羽覚議員

この度の核兵器禁止条約は、核保有国である5か国と実質的核保有国の4か国が不参加。核保有国が見向きもしない条約を作っても、核保有国との対立を深めるだけ。日本はアメリカの核の傘の下にある以上、安全保障政策を冷静に考えれば、現段階で、核兵器禁止条約に参加すべきでない。

陳情審査の賛否内訳

結果	(欠員)	山本芳昭	坪倉勝幸	荒木博	近藤仁志	恵比奈礼子	久代安敏	大西保	足羽覚	古都勝人	福田稔	村上正広
不採択	－	×	○	×	○	○	○	×	×	×	×	－

※村上正広議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。ただし、採決で賛否が同数となった場合は「議長裁決」という形で賛否表明をします。

3月定例会審議結果

○可決・同意した議案

補正予算	一般会計補正予算(第8号)	条例の廃止・制定	日南町木竹共同加工施設の設置及び管理に関する条例の廃止
	国民健康保険特別会計補正予算(第4号)		日南町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定
	簡易水道事業特別会計補正予算(第4号)		日南町居宅介護支援事業に関する条例の制定
	農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	その他	町道の路線認定について
	介護保険特別会計補正予算(第3号)		町道の路線変更について
	介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)		鳥取県行政不服審査会共同設置規約の変更に関する協議について
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		日南町過疎地域自立促進計画の一部変更について
	再生可能エネルギー発電事業特別会計補正予算(第1号)		公の施設に係る指定管理者の指定について(道の駅にちなん日野川の郷)
	一般会計補正予算(第9号)		公の施設に係る指定管理者の指定について(農林漁業体験実習施設ゆきんこ村)
	農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)		工事請負契約の締結について(日南町体育館改築工事(建築))
条例の一部改正	日南町被災者住宅再建支援事業助成条例		副町長の選任につき同意を求めることについて
	日南町議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例		教育長の任命につき同意を求めることについて
	日南町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例	新年度予算	一般会計予算 ※【賛否の分かれたもの】
	日南町職員等の旅費に関する条例		国民健康保険特別会計予算
	日南町職員定数条例		簡易水道事業特別会計予算
	日南町後期高齢者医療に関する条例		農業集落排水事業特別会計予算
	日南町介護保険条例		介護保険特別会計予算
	日南町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する条例及び日南町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する条例		介護サービス事業特別会計予算 ※【賛否の分かれたもの】
	日南町地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例		後期高齢者医療特別会計予算 ※【賛否の分かれたもの】
	日南町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例		再生可能エネルギー発電事業特別会計予算
	日南町特別医療費助成条例		病院事業会計予算

※【賛否の分かれたもの】については、P.9の討論をご覧ください。

中心地域整備に関する調査特別委員会

1月23日・3月16日

「道の駅にちなん日野川の郷」の 指定管理が決まる (企画課・農林課)

株式会社サクセス(代表取締役 和泉 享
香川県坂出市西大浜北2丁目1番11号)に決定。
・指定管理の期間は、平成30年4月1日から平成35
年3月31日までの5年間
・指定管理料は、基本額1,000万円+出荷者売上
額の15%で、上限は2,000万円
道の駅のイメージアップ戦略の取り組みについて
説明を受けた。

中心地域整備構想 (民間活用住宅整備等事業) (企画課)

太田原ゾーン利用計画案が示され、年度内に
世帯用アパート6戸(民間活用住宅)を建築した
いと提案された。
建築場所について、様々な意見が出たが、
①重機車庫は現在のまま使用する。
②健康増進施設は新築せずに既設の建物を最
大限活用する。
以上2点を前提として、執行部案を了承した。

大田原ゾーン利用構想計画(案)

平成30年3月16日
中心地域整備に関する調査特別委員会 資料



総務教育常任委員会

1月31日

福栄地域振興センター新築工事設計 (企画課)

玄関スロープに屋根が必要との意見があり、検
討を求めた。

新石見小水力発電所工事の進捗状況 (住民課)

発電開始は9月以降になるとの報告を受けた。
発電開始の遅れによる収支見込みの提出を求め
た。

総合行政システムのクラウド化について (企画課)

1市4町にて、クラウドコンピューティングを活用
したシステムの共通化についてのメリットやスケ
ジュールについて説明を受けた。

星空保全条例について (住民課)

町と町民の取り組みについて、住民課と企画課
で対応。2月中にまち協、自治協議会で説明し、3
月中旬に町の方針を県に伝える。

3月15日

日南町チャレンジ企業支援事業について (企画課)

新たに、農林産物加工品販路拡大支援事業を
追加する。

1月31日・3月15日

公共交通 (企画課)

町民から苦情の多い11時から15時までの運行
ダイヤ改正について説明を受けた。

経済福祉常任委員会

1月25日

日南町高齢者生活福祉センター「かすみ荘」 現地調査(福祉保健課)

暖房設備や給水関係などの設備、屋内壁や床
などの著しい劣化を確認した。
居住部門やデイサービスの利用に支障がないよう
に、修繕を行うよう提言した。
障がい者グループホームの施設整備や、日南福
祉会の経営状況などについて、担当課と意見交換
を行った。

3月15日

にちなん保育園の現地調査

改修後の保育室・事務室の状況及び園舎の管
理状況を調査した。

2月21日

日南町200年の森遊歩道整備計画(案)について (農林課)

1月の臨時会において予算を認めなかった遊
歩道整備事業について、事業構想・整備概要及
び将来構想について、説明を受け質疑を行った。
(本件は3月定例会において、予算を認めました)

29年度建設工事の進捗状況について (建設課)

29年度に計画されている工事等の進捗状況に
ついて説明を受けた。

簡易水道の給水障害について (建設課)

配水管の凍結による給水障害の状況及び対
応について説明を受けた。

平成29年度 一般会計補正予算

減額修正案可決

200年の森遊歩道等整備設計費・工事請負費7,635千円を減額

林業成長産業化モデル事業の地域構想に基づき、木育教育の推進を図るために、木下家住宅の裏山に「200年の森遊歩道」等を整備する予算案に質疑が相次ぎました。その結果、具体的な全体構想が明確でないという理由により、全員一致で減額修正案を可決しました。

問 なぜ、雪が深い年度末のこの時期なのか。国の予算はいつ決定したのか。

答 当初、林業アカデミーの整備を計画していたが、多里保育園を活用することで、予定していた予算が大幅に縮小した。林野庁と協議した結果、その残りの予算を可能な限り本年度において支出せよとのこと、30年度に予定していた事業を前倒しで実施することとした。国の交付決定は12月末である。

問 設計費がかなり高額になっているが。

答 国が示した設計基準に合わせた内容で、業者から見積もりを取った結果だが、入札によって実際には下がるものと考えている。

問 遊歩道を使用してどのような木育をするのか、観光事業での活用など「200年の森」の全体構想ができていないのか。

答 並行して計画策定するために鳥取大学とも協議している。

問 遊歩道の形態と構造はどのようなものか。

答 地権者と協議しながら、現場合わせをして施工する。

問 山林を借りるにあたり賃借料は検討されているか。また、間伐はされないのか。

答 木下家の方で間伐をある程度行いたい。その後の利用については無償でというふうになっている。ソフトも含めて、地権者の方々とともに十分に議論しながら進めてまいりたい。

問 遊歩道だけではなくその周辺も教育の場として使

用する必要がある。これにかかる後年度の管理費についての試算は。

答 4年間については成長産業化のソフト事業を充てる。その後については、収益性を持った利活用も検討していきたい。

修正案提案理由

200年の森等木育整備事業の全体構想が明確でなく、歩道設置工事、設計費の工事請負額に対する割合も30%を超え高額である。

よって、遊歩道設置工事の設計費180万7千円と工事請負費582万8千円を減額するものである。

その他おもな補正予算

◆町造林事業 439万円
社会体育館建設用材として
出立山町有林1ha皆伐

定期監査の報告

12月18日に監査委員より、定期監査の報告がありました。

要望事項

一、会計事務研修及び内部統制体制の整備について、毎月の出納検査において、支払の遅延、支払関係書類の不備、二重払い等が度々見受けられ、その都度指摘しているが、会計事務の重要性についての基本的認識が不足しているケースがある。全職員への財務会計事務の研修を行う必要があるのでは。

また、平成29年6月の地方自治法の一部改正において、内部統制に関する方針が決定され、市町村は努力義務に位置付けられているが「内部統制体制」の整備は、地方公共団体を取り巻くリスクについて認識し、運用することにより、市民の信頼を得ることに大きく寄与する。積極的に取り組んでいただきたい。

自治功労者表彰

平成30年2月16日に鳥取県町村議会議長会から「町村議会議長として通算6年以上在職し、功労のあった者」として村上正広議長が表彰を受けました。

【功績】

・平成23年に議会基本条例の制定や委員会のテレビ中継放送の実施など議会改革に積極的に取り組み、それらが高く評価され、日南町議会が平成27年2月に全国町村議長会から特別表彰を受ける。

・平成27年6月より議会基本問題調査特別委員会で、議員定数のあり方について検討し、住民アンケートの結果等を踏まえ、次回の一般選挙から議員定数を現行の12人から10人に決定した。これら地域の振興発展に寄与貢献されました。

今後更なるご活躍を期待します。



副町長の選任

地方自治法の規定により、任期満了に伴う副町長の選任の同意について投票が行われ、中村英明氏が再任されました。

任期は、平成30年4月1日から平成34年3月31日まで。



教育長の任命

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、任期満了に伴う教育長の任命の同意について投票が行われ、丸山悟氏が再任されました。

任期は、平成30年4月1日から平成33年3月31日まで。



議会活動報告

23日	臨時議会
25日	中心地域整備に関する調査特別委員会
31日	経済福祉常任委員会 総務教育常任委員会
(2月)	
8日	全員協議会
14日	定期監査
15日	定期監査
16日	鳥取県町村議会議長会総会・表彰式
21日	経済福祉常任委員会
26日	議会運営委員会
28日	全員協議会



滋賀県大津市にて

2日	3月定例会本会議
5日	3月定例会本会議
6日	予算審査特別委員会
7日	議会運営委員会
8日	予算審査特別委員会
9日	日南中学校卒業式
12日	予算審査特別委員会
13日	3月定例会本会議
15日	総務教育常任委員会
16日	経済福祉常任委員会
20日	日南小学校卒業式
23日	予算審査特別委員会
27日	中心地域整備に関する調査特別委員会
28日	議会運営委員会
29日	全員協議会
30日	議会運営委員会
31日	全員協議会

平成30年 行政視察 受入状況

※議会に関する視察
(1月12日以降)

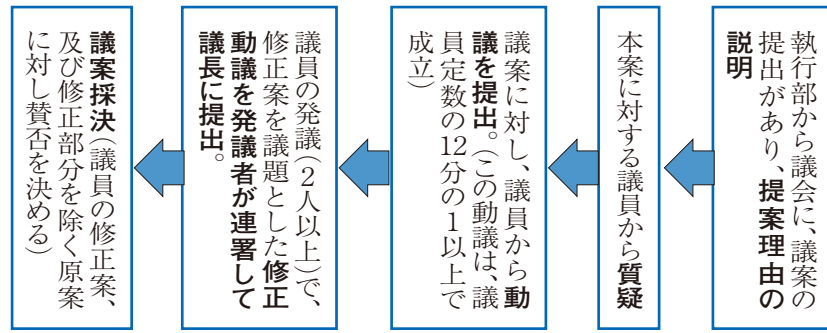
■2月13日
福岡県古賀市議会
議会広報の作成について

議会「修正動議」とは

議案の内容に対し、議員は必要に応じて議案を修正する事ができます。

1月の臨時会で、平成29年度一般会計補正予算を修正可決しました。今号では「修正動議」についてご説明します。

議案審査の流れ



道 どっこい、この町に生きる 草



Uターンのきっかけは

昭和43年高校卒業後、電電公社（現在NTT）鳥取支店に入社して、鳥取、広島、東京と転勤を繰り返して、50歳の時に米子に帰ってきました。

当時、管理職として人員整理に携わり、他人を辞めさせて自分だけが残っているのかと葛藤している時期に、父親の具合が悪くなったのと、都会で65歳まで勤めていたらいいなと思っていただけ、米子転勤が縁で田舎に帰ってみると自然が好きなんだと、里心が付いた感じ。53歳でUターンを決意しました。

帰られてからの生活は

中海CATVの宅内工事や、会社での経験を活かしてパソコン教室の講師、日野高校のOA関連で主にホームページの作成、双葉寮の舎監、NTTの営業を臨時で4年やり60歳できつぱり辞めました。悠々自適にやっていたけど役職依頼が来るようになり、30数年離

いきいきと女性が活躍すると、

町が面白くなる

後藤 厚見さん（上石見）

あつみ

れていた間も皆で地域をまとめてくれていたと感謝し、役回りがあったのかと覚悟しました。ただ皆でカバーし合う気持ちを持ち続けて行きたいものです。

法人「農天気」設立のいきさつは

27年2月に組合員26名、耕地提供者31名、約12haの規模で設立しました。地域を守り、景観を守る事が目的で、大規模法人では草刈り等、維持管理がおろそかに成りほしくないかと懸念があり、地域の仲間とやろうとの話し合いから。

任意団体で受託組合を作り、中山間直接支払を利用して機械も購入していたので割と抵抗なくできた。

日南町が地域をより良くするには

女性が活躍できる町でないとダメ。女性が生き生きと自己表現できて、活躍できることにより面白い町づくりが期待できるのでは。そうならば面白そうと他所から女性が入り易い。新しい視点も生まれるのでは。それと地域的に他所



発芽状態を点検

から来た人に距離を置く傾向にある、Uターンの方を優しく包んであげれる地域であって欲しい。あかねの郷家族会長として

家族会の中に職員も入っているので、キツイ仕事を良くやってくれてたいへん感謝しています。和やかな雰囲気を持つことによって、中途退職が減り、新規採用がうまくいけばとの想いは強いです。モンゴルからの研修生受け入れは、いいですねえ。日本人の国でないといけない考えは根強いけど、農業も一緒に他所の人を受け入れていかないと日本が成り立たない時代が来ると思う。

編集後記

種蒔きも終わり、田んぼに水が張られ、早苗に新緑が映え、カエルの声が空き家にも昔と変わらず響きます。五穀豊穡を願って管理が問われ、これから勝負です。

3月定例会は、予算議会とも称され「誰もが安心して住むことができる町」の町長施政方針のもと、産業振興、福祉の充実、生活・子育て支援等、各事業に予算と言う種が播かれました。

予算執行と言う管理状況を、町民の皆さんの評価を頂きながら、議会も実り豊かな成果を追求していきます。

皆さんの声が鍵となります。是非議会に届けて下さい。

近藤 記

議会広報常任委員会

委員長 恵比奈礼子
副委員長 足羽 寛
委員 近藤 仁志
大西 保
古都 勝人
福田 稔